

学校長あいさつ 年度当初にあたって

～チーム星峯西小で取り組む令和3年度学校経営・運営方針の概要～

子どもたちの元気な声が校舎に響き、令和3年度の星峯西小学校がスタートしました。保護者、地域の皆様には、かねてから本校教育活動に対する深い御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。昨年度は創立40周年の記念イベントとして750人の手形のモザイクアート「希望の虹」の新聞記事が掲載されました。実際の作品を見ると制作にかかわった方々の思いや願いがひしひしと感じられました。様々な分野で素晴らしい成果を上げている本校に学校長として赴任することができたことを大変光栄に思うと同時に、新たな歴史と伝統の1ページを切り開いていくことの重みも感じているところです。

さて、本年度は新1年生が83名入学し、全校児童が630名（全26学級）、52名の学校職員でスタートを切りました。これまでの取組を継承しながら、さらに充実・発展させるため、「学校、家庭、地域が連携・協働し『生きる力』を育む星峯西小学校プラン」（構想）に教職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。今年度も昨年度同様にコロナ禍のため各種行事を制限することになりそうです。本来ならば保護者や地域の方々と対面して学校経営・運営方針をお伝えすべきところですが、このような状況ですのでこれまで以上にHPやデジタル通信システムを積極的に活用してお伝えしていきたいと考えています。

まず、学校経営・運営の基本的な考えについてご説明します。

令和3年(2021年)は

- ・ R3は東京オリンピック・パラリンピック開催
- ・ 新型コロナウイルス感染症は？ など

不易流行
松尾芭蕉「去来抄」から

持続可能な
Sustainable

そんな中で学校教育の現場は？
学習指導要領完全実施、「教育の情報化」への対応、学校における働き方改革、給特法の一部改正(1年間の変形労働時間制)など
GIGAスクール構想、「未来の教室 Learning Innovation」の本格稼働
:R3児童生徒一人一人にタブレット端末を配備、本格稼働、デジタル教科書、統合型校務支援システム運用、学校・家庭間のデジタル通信システムの構築等→現場の急速な変化に対応できる教職員等の育成が急務

学校経営の全体像を構造化(関係性、順序性、重要性等)し、視覚化して常掲して分かりやすく伝える。

星峯西小の子ども一人一人に『生きる力』を育むために学校経営プランに基づき、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の育成に向けた具体的な取組とその成果・課題などを総括し、次年度へ確実に結びつける。
【学校経営・運営の基本】

- ①「閉じる」→「開く」……説明責任、結果で示す
- ②「対立」→「連携・協働」……協調、「ともに」の姿勢
- ③「叱る」→「褒める」……質の高い指導・教育力

上図2枚は、4月2日付けで全教職員に説明した学校経営・運営の基本方針の図です。今後の教育の動向、社会の動向等を見据えながら先手先手で教育活動を行っていききたいとの思いを説明しました。特に教育の基本方針として3点を掲げました。

① 「閉じる」から「開く」へ

- ・ 学校としての説明責任を果たすとともに、子どもの姿で結果を示せるようにしていく。

② 「対立・批判」から「連携・協働」へ

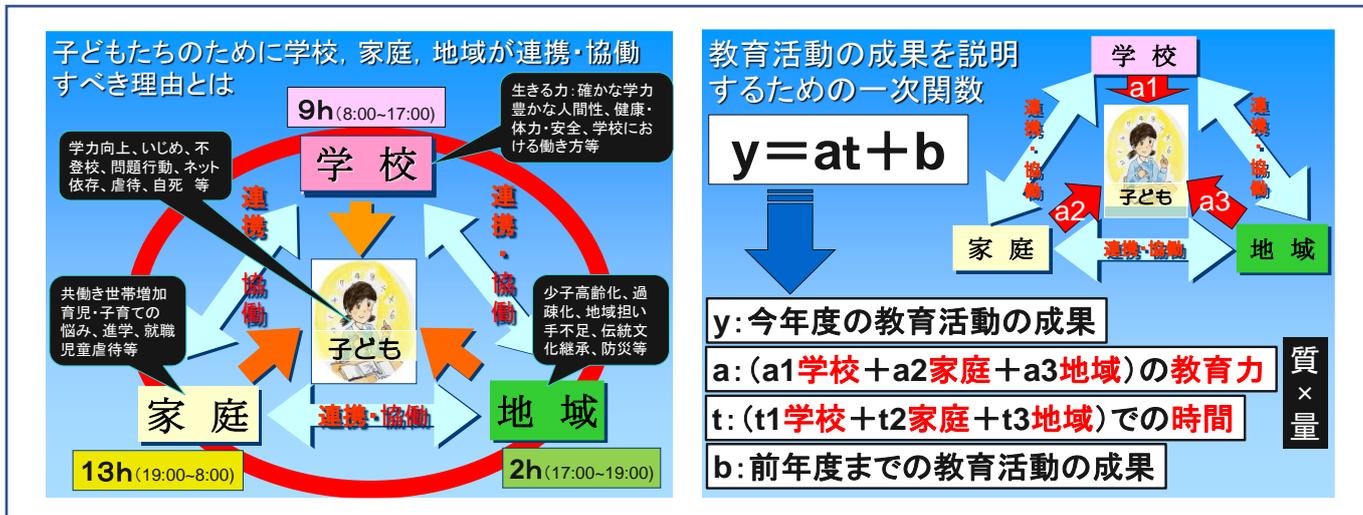
- ・ 学校、家庭、地域が互いの至らなさを批判しあっても何も生まれないこと、互いに協調し合い、ともに取り組む姿勢を大切にしていこう。

③ 「叱る」教育から「褒める」教育へ

・子どもを叱る前に教師や保護者の指導の在り方を振り返ること、もっと事前によりよいかかわり方、手立てはなかったのかを振り返り、質の高い指導・教育力を身に付けていく。

この3点を学校経営・運営の基本的な考え方として取り組んでまいりたいと思います。

次に、学校と家庭と地域が三位一体となって取り組む姿をモデル図で示しました。



上図は学校における子ども、家庭における子ども、地域における子どもを三角形の中心に位置づけた図です。学校、家庭、地域には様々な課題が山積しています。それらの課題をみんなで一緒に考え、解決策を立てて一緒に実践しながら解決に結び付けていきたいと考えています。

子どもの姿をみると学校の教育活動が分かり、家庭の様子ที่分り、地域の教育力が分かると言われます。正に子どもは学校、家庭、地域を映し出す鏡のような存在です。私たち大人がしっかりとした教育理念のもとに手を携えて取り組んでまいりたいと考えます。

課題の中には、すぐにでも解決できるものもあれば、時間がかかるものもありますが、それらの課題についても共通認識する場、協議の場をつくりたいと思います。

教育活動の成果は右上図のように1次関数で表せるとしています。学校と家庭と地域の教育力という質的なものと、かかわった時間をかけたものに比例するという考えです。より質の高い教育力で時間をかけて三者が一体となって取り組んでまいりたいと思います。

最後に4月1日に本校に着任した際に職員に話したことがあります。それは**3S**を大切にしましょうということです。**3S**とは、**スマイル (Smile)**、**スタディ (Study)**、**シンセリティ (Sincerity)**です。笑顔で、よく学んで、誠実に対応する教職員でありたい。教職員みんながそのような姿で教育に当たりましょうと話しました。

いろいろ不明な点や疑問点等ありましたら遠慮なさらずお気軽にご連絡をいただけたらありがたいです。学校長として誠意をもって対応させていただきたいと思っております。今後とも情報発信を随時行ってまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

令和3年4月13日

鹿児島市立星峯西小学校 校長 谷口源太郎